YAMATOKORIYAMA LIONS CLUB NEWS

令和2年1月1日発行

若獅子

題字　会長 L東口義巳



高台寺・鬼瓦

会長スローガン

みんなで考えみんなで創るライオンズ

ライオンズクラブ国際協会335-C地区8R2Z

大和郡山ライオンズクラブ

〒639-1001 大和郡山市九条町228-1 コウシンビル3F

TEL:0743-52-0906 FAX:0743-52-1911

2019
vol.401
11・12月号



本年もよろしくお願いいたします

メンバー紹介


赤熊 清志


秋田 義雄


足立 豊彦


飯田 喜代視


石田　薫


上田　清


植村 俊博


大野 忠彦


尾関 紹保


川井 喜樹


川端 章代


喜夛　理


北谷 博美


胡内 昌久


五師 正治


澤井 宏純


鈴木 利孝


田口 惠美子


辻井　健


鶴田 晴久


冨川 哲男


中谷 正輝


中津 甚之丞


中野 昌英


中野 雅史


中山 貴典


西川 貴雄


林　洋史


東口 義巳


藤井　卓


藤本 保文


堀口 伸一


松本 隆善


松本 良一


森　義治


森田 久春


森田　誠


八木 進一


柳生 眞孝


安井 吉信


吉川　磨


脇村 正人


渡邉 茂則


八尾　徹


高木　譲


二宮 英敏


赤熊 晴美


秋田 良子


飯田 博記


植村 道代


尾関 智代子


西川 仁美


東口 佳子


松本 江貴子


松本 久実


元塚 佳史


森田 明美


八木 親海


山本 裕加


石川 泰弘


上田 明美


髙田 眞佐子


高橋 幸博


谷垣　康


中村 久雄


西川 久男


原田 勝子


日高 博生


藤本 弘美


堀内 豊平


矢追 雅英


柳澤 保徳


アシスタント
桒澤真由美

新年を迎えて



会長　L 東口義巳

新年明けましておめでとうございます。
本年もよろしくお願い申し上げます。
元号が「天地、内外共に平和が達成される」と言う願いが込められた「平成」から「令和」に替わりました。令和には「人々が美しく心を寄せ合う中で、文化が生まれ育つ」と言う意味が込められているとか、英語では[Beautiful　Harmony] と訳すそうです。考えてみると楽しいですね。
この様な節目の年に伝統ある大和郡山ライオンズクラブ第55代目の会長をさせていただいていることは光栄の極みです。L森田久春前会長からバトンを受け取り、あっという間に、ワクワクドキドキの半年がすぎました。振り返ってみますと、本年度は5名の新しい仲間を迎え、毎例会ではメンバーの皆様と楽しくいろいろな情報を共有しようと、愛バンク例会、いのちの電話例会、LCIF例会、糖尿病予防例会、慈光院でのお月見例会、時にはカラオケを取り入れた例会を催したりして楽しく有意義に過ごしてまいりました。
私のスローガンは「みんなで考えみんなで創るライオンズ」、またアクテビテイスローガンは「ひとりひとりの奉仕「we　serve」をカタチに」と言うテーマを掲げ、諸先輩方の「奉仕への思い」を引き継ぎ、地域に根ざした活動を目指しております。
「1人の照らす明かりは小さくとも何千、何万と集まれば巨大な光明となる」事を願い、残りの半年はCN55周年に向かって、そして次の会長にバトンを渡すまで「明るく、楽しく、前向きに！」歩んでいきたいと思っております。どうぞよろしくお願いします。

例会報告

第1310回　11月第一例会　2019年11月14日　DMG MORI やまと郡山城ホール

定例のセレモニー、そしてL藤本保文によるライオンズの誓い唱和で始まり、L上田明美(北和診療所理事長)による「糖尿病について」のゲストスピーチがあり、メンバーの中にも糖尿病を宣告されている方やその予備軍が多い中、糖尿病及び合併症の恐ろしさについて真剣にスピーチを聴き入りました。続いて夏季ＹＣＥ派遣学生の迫 遥菜さんよりオーストラリアのシドニーで楽しく過ごしたホームステイの体験報告がありました。また大和郡山市より金魚モニュメントの寄贈に対しての表彰状の披露がありました。

承認事項においては清掃例会決算・芋掘り体験学習会決算・新年家族例会予算案等が提案されいずれも承認されました。

記事担当：ＰＲ委員　L八木進一









第1311回　11月第二例会（バザー例会）　2019年11月28日　DMG MORI やまと郡山城ホール

あと一ヶ月もすればお正月というのに一向に寒くなりませんがそのような中、恒例のバザー例会を開催しました。

開会ゴングに続きL吉川によるライオンズの誓い唱和、そしてL中野昌英の乾杯にてバザーが開店！盛り上がったのは計画委員会が練りに練った出し物「マグロの解体ショー」で腕を誇るメンバーがあっと言う間に捌いて「お造り」として各テーブルへ、その美味しさに皆が舌鼓を打った。計画委員会が準備した盛り沢山の商品はお花から始まったせり売りでお酒の勢いを借りて即！完売。アクトに向けていい準備が出来そうな予感がします。締めはＬ森のライオンズ・ローアで閉会、皆さんお買い上げありがとうございました。

記事担当：ＰＲ委員長　L安井吉信







第1312回　12月第一例会　2019年12月12日　DMG MORI やまと郡山城ホール

師走に入り冬らしい日も少しずつ増えてきました。この度の例会は第二副地区ガバナーのL佐々木由美子をお招きし、LCIFの詳細について講演していただきました。

また、メルビン・ジョーンズ・プログレス・フェローへのラベルピン伝達についてもL足立豊彦ほか９名にL佐々木由美子より手渡しで伝達していただきました。続いて今月が誕生月のL森・L植村・L鶴田・L東口・L川井・L堀口に東口会長からのプレゼントがありました、おめでとうございます！

承認事項においてはバザー例会収支決算・次期地区役員推薦の件が提案されいずれも承認されました。

なお、10月１日にご逝去されましたL岩井敏夫の令夫人が出席され、L岩井のライオンズへの思いや熱意またエピソードを交えながらのご丁重なるご挨拶を賜りました。

ライオンズの誓い唱和：L八木進一

ライオンズ・ローア　：L足立豊彦

記事担当：ＰＲ委員長　L安井吉信







第1313回　12月第二例会　2019年12月19日　DMG MORI やまと郡山城ホール

令和元年最終の例会は忘年例会として開催、いつものように東口会長のゴング、そしてL川井のライオンズの誓い唱和で始まりました。ゲストに地区FWTコーディネーターのＬ金田孝子をお招きし「ＦＷＴについて」詳しくお話をしていただきました。

そのあと、第二副会長のL赤熊により、年度前半期メンバーの労をねぎらう乾杯！の発声で食事タイムへ。年忘れのお酒も登場し今年の出来事、来年に望むこと、また年末年始の過ごし方などの話題で大いに盛り上がりました。そして中締めには市長のL上田清が登壇、市民・市内における３つの明るい話題の披露を交えてのライオンズ・ローアで幕となりました。

記事担当：ＰＲ委員　L八木進一









■第32回国際平和ポスターコンテスト奈良展示会

2019年11月30日（土）なら１００年会館小ホールにおいて優秀作品の奈良展示会が開催されました。開会式では地区ガバナー L小鍛冶正明の挨拶、地区役員によるテープカットにより開場、応募者のご家族が次々と入場されにぎやかな会場となりました。

今回のコンテストは「平和への道のり」をテーマに３３５－C地区内の児童に募集したところ15,846枚の応募がありました（地区への提出は416枚）。奈良展示会では地区における入賞作品と奈良県内クラブから地区へ提出した優秀作品が展示されました。

尚、当クラブ内での受賞は平和小学校６年生の三星花音さんが第一副地区ガバナー賞、郡山南小学校６年生の金森勘太さんがゾーン・チェアパーソン賞、平和小学校５年生の遠藤そよ香さんが地区MC・IT委員長賞に輝きました。

記事担当：ＰＲ委員長　L安井吉信













■さつま芋栽培体験学習（焼いもパーティ）

さつま芋の苗植えから収穫までの体験学習をしてその締めくくりとして焼き芋パーティーが行われました。郡山北幼稚園は11月26日、筒井幼稚園は29日、両日とも晴天で焼き芋日和でした。PTAのお父さんたちが早朝より火を起こして準備をしてくださいました。園児たちは芋が焼けていくところを見学し、黄色いアツアツのお芋を「おいしい、おいしい！」と言いながら、お父さん、お母さんと一緒に食べて、楽しい時間を過ごすことができました。

最後に園児たちから「ありがとうございました」とお礼の言葉がありました。春に植えた苗から大きなお芋が出来て、それを焼いて美味しそうに食べる子どもたちの満面の笑みを見るとこれからもこの体験学習のアクティビティは継続しなければと感じました。

記事担当：青少年育成委員長　L澤井宏純









■第58回OSEALフォーラム「広島」

11月８日(木)～ 9日(金)L東口会長を筆頭に13名が参加、8日午後広島グリーンアリーナにて荘厳かつ巨大に開催された開会式に出席、夕方からは地区ガバナー晩餐会に参加、開催地が国内でもあることから参加者も多数で盛大な宴となりました。９日午前はアラートについてのセミナーに参加。午後からは平和公園・安芸の宮島などを散策し帰路へ着きました。

記事担当：ＰＲ委員長　L安井吉信











「郡山百話」より

十五堂 水木要太郎

恭賀新年

正月の十五日に生まれたる小生は、十五歳にして十五万石の旧城下なる松山の中学に入り、後十五年にして又十五万石の城下なる郡山の中学に教鞭を執り、茲に十五年目の新年を迎え候

正月十五日　　十五堂

これは私が所蔵する十五堂翁の年賀状である。

翁は慶応元年(1865)正月15日に愛媛県松山で生まれ６歳のとき伊予大洲６万石の加藤遠江守泰秋の面前で、御前揮毫したほどの神童であった。その時、紙からはみ出して毛氈へ点を打ったという話が残っている。

松山中学校では正岡子規や東郷元帥の部下であった秋山参謀と同窓であった。卒業と同時に、伊勢一志郡の小学校に招かれて先生になった、月給25円は郡長に次ぐ高給であったようである。

明治23年、26歳のとき奈良県師範学校、県立郡山中学校教諭となり、郡山豆腐町に移り住んだ。明治42年、奈良女子高等師範学校の創設と同時に教授として迎えられ、国史・国文を担当し、昭和２年退官して同校講師として勤務し、昭和13年６月１日74歳でこの世を去るまでの40余年の永い歳月を育英界に捧げていた。その間、あらゆるものを蒐集し、鋭い鑑識眼を養い、芝井通で食道楽・詩歌・俳諧・狂歌・俗謡など何れも一家の風を具へ、花柳界の新春弾めの唄や、吉田奈良丸の浪曲枕詞は十五堂翁の作詞と決まっていた。

翁は不幸にして47歳のとき信子夫人に先立たれ、爾来ヤモメの身で４男２女の訓育に専念し、74歳の長寿を全うして従四位勲四等に叙せられ、天皇・皇后陛下より祭司三百円御下賜の栄に浴している。

翁を語るうえで忘れてならないものに大福帳がある。明治40年ごろから始まり310冊に及んでいる。誰彼の別なく署名漫筆を求めたもので、一流名士の書画随筆・芸者酌婦の署名・俳優芸人の落書など老若男女の別なく、よくぞ集めたりの感がある。

特に目につくのは陸軍大臣寺内寿一大将が伏見旅団長であった大正13年12月に、禿頭の自画像を画いて禿山と署名したものや、森鷗外が東京帝室博物館長であった大正７年12月に奈良正倉院に来たとき、奈良漬を讃える詩を書いている。変り種では、スエーデン国の皇太子の署名がある、グスタフ・アドルフで現在のスエーデン国王６世その人である。

考古学に興味を持つ皇太子が奈良に来られたとき、正倉院の陶器を見たいとのことで、３個の陶器をお出しすると床に毛氈を敷いて、その上に３点を置き、自らは腹這いになって見られたという。大福帳にはこの状況を案内役の浜田耕作博士が図し、図の下には皇太子のサインがある。

（著者：大鎌淳正）



水木十五堂翁：高田十郎「奈良百題」より

■LG会

～ 第6回 ～

2019年度ＬＧ会の第6回のゴルフコンペが、11月15日(金)晴天中、春日台のカントリークラブに於いてメンバー 12名の参加で開催されました。今回は、天理ライオンズクラブチャーターナイト55周年記念ゴルフ大会に参加でのＬＧ会となりました。総勢79名の参加の記念ゴルフの成績は、当クラブからの入賞者は、4名と少ない結果ではありましたが、他のクラブとの懇親や交流が図れて誠に有意義な一日となりました。ＬＧ会結果は次の通りです。

優　勝 Ｌ脇村正人
準優勝 Ｌ渡邉茂則
３　位 Ｌ五師正治

記事担当：ＰＲ委員会 Ｌ堀口 伸一



～ 第7回 ～

2019年度ＬＧ会の第7回のゴルフコンペが、12月11日(水)晴天中、ヤマトカントリークラブに於いてメンバー 13名の参加で開催されました。今回は、自称プロゴルファーのＬ石田も初参加して頂き、コンペを盛り上げてくれました。プレー終了後、筒井の「麿」にて、表彰式とＬＧ会の忘年会が行われ、皆さん食べて、飲んで、歌って懇親を深めていました。優勝は、久しぶりに女性でＬ.八木親海が初優勝を飾りました。今回のＬＧ会結果は次の通りです。

優　勝 Ｌ八木親海
準優勝 Ｌ五師正治
３　位 Ｌ堀口伸一

記事担当：ＰＲ委員会 Ｌ堀口 伸一



■献血キャンペーン

今期４回目の献血キャンペーンは11月10日(日)アピタ大和郡山店にて実施しました。OSEALフォーラム「広島」帰りのメンバーが多数参加、旅の疲れもよそに献血への呼びかけを行いました。

記事担当：ＰＲ委員長　L安井吉信



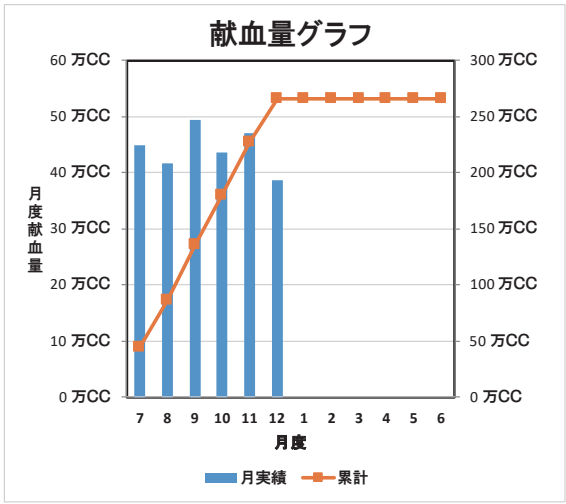


今期５回目は「クリスマス献血キャンペーン」として12月21日(土)イオンモール大和郡山にて実施しました。明日が冬至とは思えないぽかぽか陽気のなか歳末に向けて賑わう買い物客へ懸命に呼びかけました。

記事担当：ＰＲ委員長　L安井吉信







ご冥福をお祈り申し上げます

チャーターメンバーであり我々にたくさんのご指導をくださいましたL岩井敏夫が去る令和１年10月１日にご逝去されました。ここに謹んで哀悼の意を表します。

【享年88歳】
L岩井敏夫の略歴
クラブ入会：1965年4月
第25代会長：1989年～ 1990年
地 区 役 員：1997年～ 1998年



編集後記　今年度『若獅子』は全５回発行の予定です。今回で３回目、折り返し点になりました。後半も皆様に楽しく読んでいただけますようPR委員会一同頑張ってまいります。